

## とよしの健全性、安全性、成長性

### 自己資本比率

令和4年9月期における、とよしの自己資本比率は、国内基準の4%、国際基準の8%を大きく上回る**9.72%**となりました。自己資本比率は金融機関の経営体力を示す指標であり、皆様に安心してお取引いただけますように、今後とも「堅実経営、健全経営」を行ってまいります。

### 不良債権比率

#### ●信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権比率 (総与信に対する不良債権比率)

信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権比率は、**2.78%**と、令和4年3月期に比して**0.02**ポイント上昇しました。

### 預金積金残高

預金積金残高は、地域の皆様よりのご信頼のもと、**1兆7,902億円**と令和4年3月期に比して**527億円**の増加となり、堅調に推移しました。

### 融資金残高

融資金残高は、住宅ローンなど個人ローンを中心に地域の皆様への積極的な取組みにより、**8,796億円**と令和4年3月期に比して**79億円**の増加となりました。

### 収益状況 (業務純益、経常利益、当期純利益)

令和4年9月期(上半期決算)は、業務純益**13億円**、経常利益**12億円**、当期純利益**10億円**となりました。また、令和2年3月期より開示を追加している実質業務純益は**16億円**、コア業務純益は**15億円**となりました。

### 内部留保

とよしの財産である会員勘定(出資金・特別積立金等)は**767億円**となり、より内部留保を充実することができました。

## 自己資本比率の状況

令和4年9月末の当金庫の自己資本比率は**9.72%**となりました。自己資本比率は、金融機関の経営体力を示す指標であり、出資金・利益準備金・特別積立金等の「自己資本の額」を「分子」として、各資産にリスク・ウェイトを乗じた合計額の「リスク・アセット」を「分母」として算出します。

#### ① 自己資本の額

(単位:百万円)

| 項 目               | 令和4年9月期 |
|-------------------|---------|
| コア資本に係る基礎項目       | 77,655  |
| 出 資 金             | 848     |
| 利 益 剰 余 金         | 75,938  |
| 外 部 流 出 予 定 額 (△) | 50      |
| 一 般 貸 倒 引 当 金     | 918     |
| コア資本に係る調整項目(△)    | 258     |
| 合 計 (自己資本の額)      | 77,396  |

#### ② リスク・アセット

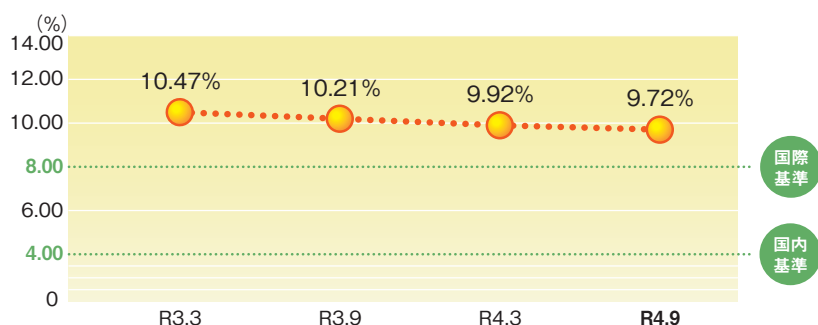
(単位:百万円)

| 項 目          | 資産の額      | リスク・アセット |
|--------------|-----------|----------|
| オン・バランス取引    | 1,897,090 | 769,768  |
| オフ・バランス取引    | 40,392    | 1,164    |
| C V A リ ス ク  | —         | 1        |
| オペレーショナル・リスク | —         | 24,845   |
| 合 計          | 1,937,483 | 795,779  |

◆ リスク・アセットの詳細については、パーセルⅢ 第三の柱に関する定量的な開示事項をご参照ください。

自己資本比率(①自己資本の額÷②リスク・アセット) ➡  $77,396 \div 795,779 = 9.72\%$

#### ●自己資本比率の推移



主に地域の皆様への貸出金増加等の要因からリスク・アセットが増加し、自己資本比率が低下しておりますが、自己資本は順調に増加しています。